

# 愛知東邦大学の海外留学・研修プログラム

愛知東邦大学において海外留学プログラムを希望される場合、いくつかの種類があります。以下をご覧ください、皆さんの目的や趣旨に合った「海外留学」を見つけてください。

## 愛知東邦大学における海外留学・研修の種類

### 1. 単位認定による考え方

#### ○正課

- ・単位として認められる
- ・学籍が「在学」か「留学」となる場合、**4年間で卒業も可能となる**

「正課」のプログラムに参加した場合、そのプログラムでの学習や成果が愛知東邦大学の単位として認められます。また長期留学（2ヶ月以上）においても、留学先で学んだ科目の内容が本学のカリキュラムに存在する科目と同等と認められた場合は卒業要件の科目として認定されます。

#### ○正課外

- ・単位として認められない
- ・学籍が「休学」となる場合、**4年間で卒業できない**

「正課外」のプログラムに参加した場合、大学の単位として認められません。

また長期留学する場合、半年以上の「休学」制度を利用すると4年間での卒業はできなくなります。

区分	概要
全学共通科目 「海外研修 A・B・C」	全学部の学生を対象とした本学が提供するプログラム。
申請型プログラム※1 「海外研修 A・C」	海外留学をする学生本人が所定の手続き（申請・審査）を経ることで成績評価対象（＝単位として認められる）となるプログラム。
実施後に個別に科目認定されるプログラム（長期留学）	本学が認めた教育機関への留学プログラム。 「休学」で渡航・留学の場合も一部の科目が単位認定される場合もある。

※1 申請型プログラムの詳細については別項目参照

区分	概要
単位授与・認定を伴わないプログラム	・大学から紹介している海外留学（ボランティア含む）プログラムや民間の留学斡旋機関等が独自に実施しているプログラムにおいて、内容が「海外研修」の科目として適切と判断されなかったもの。 ・留学中に得た科目において、内容が本学のカリキュラムに存在する科目と同等と認められないもの。 例) ワーキングホリデーなど

※「留学」目的によって区分されることもあります（別項目参照）

## 2. 目的による「留学・研修」の種類

目的が「他言語習得」「異文化理解」等が「海外の大学の専門科目の受講」かによって条件や準備期間などが大きく異なります。

### ○他言語習得・異文化理解

本学が実施している「海外研修」ではそのほとんどに英語研修が含まれています。また、交流協定校の中には留学生を対象にした語学プログラムを開催している大学もあるため、それらに参加することも可能です。

長期休暇中を利用して民間の留学斡旋業者などから紹介されたプログラム（語学研修や海外ボランティアなど）に参加する場合はこちらの目的にあたるものが多いでしょう。期間は目的やプログラムによりますが最短で2週間程度で、語学に不安のある学生であっても、受け入れ可能なプログラムが多いのが一般的です。

### ○海外の大学の専門科目の受講

一般的に、そのプログラムに参加（入学）するのに一定の語学水準が求められます（下記表参照）。また、留学期間は少なくとも半年以上は必要です。日本出発時に下記の語学力に満たない場合は、最初の半年を「他言語習得」目的の留学とし、渡航中にスコアを上げて目的の大学に出願するというケースも可能です。

### 語学力の目安（参考：公益財団法人 日本英語検定協会）

	CEFR	ILETS	英検	TOEFL iBT	TOEIC
海外大学院出願レベル	C1-C2	7.0-8.0	1級レベル	100~	860~
海外大学出願レベル	B2	5.5-6.5	準1級レベル	60~	730~
海外大学条件付き出願レベル	B1	4.0-5.5	2級レベル	35~	550~

CEFR：語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格。欧米で幅広く導入されている。

ILETS：海外移住や海外留学の際に利用される英語運用能力試験。

### 参考：留学にかかる費用

休学：本学への在籍料＋現地への渡航・滞在・現地プログラム料

留学：本学への授業料＋現地への渡航・滞在費用・現地プログラム料

※成績優秀者は「留学特別奨学生」として本学への授業料が免除される制度があります  
（詳細についてはS棟1階 地域・国際交流課まで）

2020年2月作成